

校長室通信 4/18 6号

長崎県教育庁は、長崎県「学力向上のための三つの提案」をしています。

その1つ目には、【「できた」「分かった」の笑顔があふれる授業】があります。

その柱の1つに「めあて」と「まとめ」が子供に届く授業が提案されています。

小柵小の各学級において、しっかりと「めあて」と「まとめ」が届く授業づくりに取り組んでいます。

長崎県「学力向上のための三つの提案」

平成29年4月 長崎県教育庁義務教育課

「できた」「分かった」の笑顔があふれる授業

- 「めあて(課題)」と「まとめ」が子供に届く授業
- ねらいに即した「書く活動」を重視する授業
- 「学習規律の徹底」と「支持的風土の醸成」により安心して学べる授業

「夢・憧れ・志」を共に育む家庭・地域との連携

- 課題の質と量を見極め、自主的な家庭学習の習慣化を図るための連携
- 子供の学びを認め合い、自己肯定感を高めるための連携
- 学校での学びを生かす場を創るための連携

子供が成長する喜びを分かち合う職員室

- 全教職員が自校の課題を理解し、日々の授業改善につなぐ職員室
- 研修の機会を学校の内外に求め、学び続ける職員室
- 学年・教科・世代を越えて語り合う職員室

